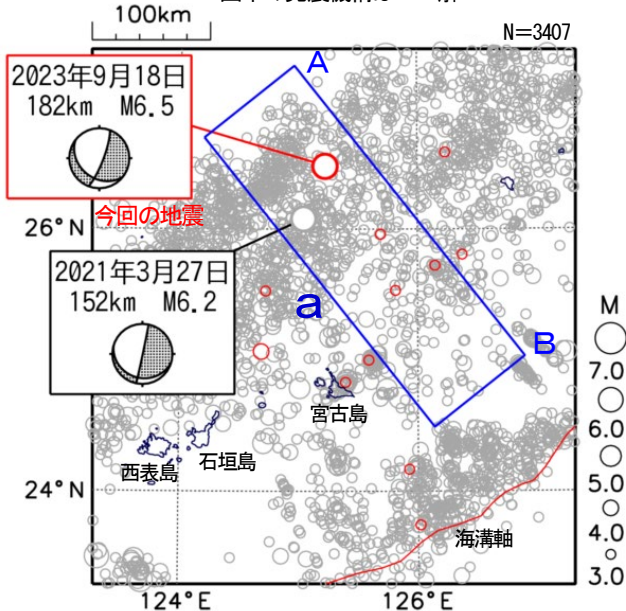


9月18日 宮古島北西沖の地震

震央分布図

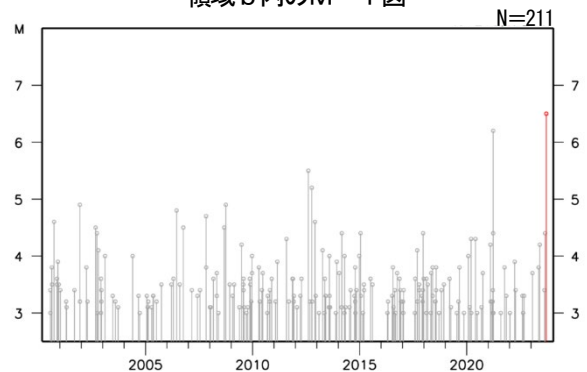
(2000年7月1日～2023年9月30日、
深さ50km～250km、 $M \geq 3.0$)
2023年9月の地震を赤色で表示
図中の発震機構はCMT解



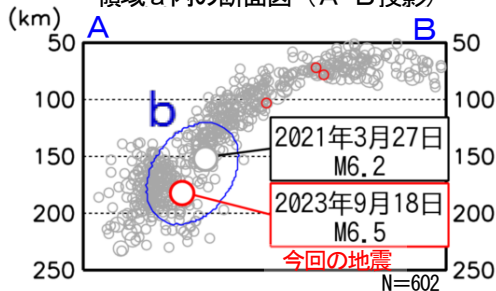
2023年9月18日22時21分に宮古島北西沖の深さ182kmで $M 6.5$ の地震（最大震度3）が発生した。この地震はフィリピン海プレート内部で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、フィリピン海プレートが沈み込む方向に圧力軸を持つ型である。

2000年7月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、 $M 6.0$ 以上の地震が今回の地震を含めて2回発生しており、もう一つは2021年3月27日に $M 6.2$ の地震（最大震度2）が発生している。

領域b内のM-T図



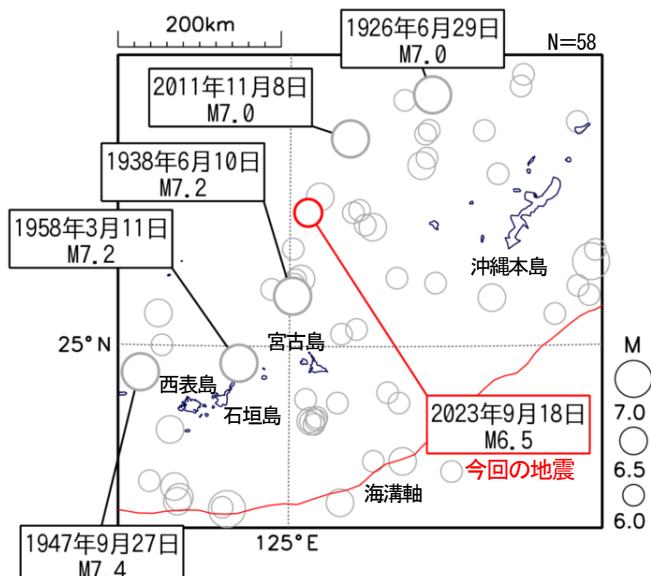
領域a内の断面図 (A-B投影)



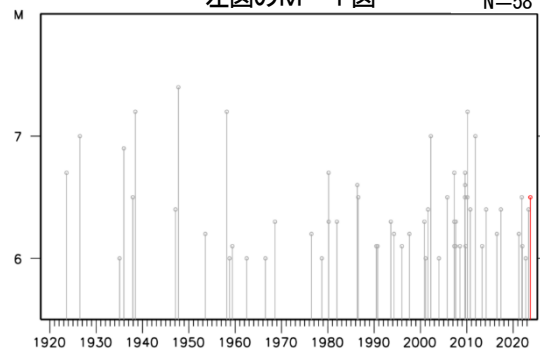
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺では、過去に $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、1938年6月10日に $M 7.2$ の地震（最大震度4）が発生し、宮古島平良港で1.5m程度の津波が目撃されており、桟橋の流出などの被害があった。また、1958年3月11日に $M 7.2$ の地震（最大震度5）が発生し、先島諸島で死者2人、負傷者4人のほか家屋損壊などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1919年1月1日～2023年9月30日、
深さ0km～250km、 $M \geq 6.0$)
2023年9月の地震を赤色で表示



左図のM-T図



(この期間は検知能力が低い)